

2015年、当社は100周年を迎えました。
当社の歴史や製品にまつわる収蔵品がある
博物館・美術館をご紹介します。

安川電機 & ミュージアム

第5回

トヨタ産業技術記念館

所在地 名古屋市西区則武新町4丁目1番35号
開館時間 9:30～17:00 ※入館は16:30まで
休館日 毎週月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始
URL <http://www.tcmitt.org>



<博物館の概要>

第5回は名古屋市西区のトヨタ産業技術記念館です。

トヨタ産業技術記念館は1994年6月に開館した、近代日本の発展を支えた基幹産業の一つである繊維機械と、現代を開拓し続ける自動車の技術の変遷を通して、日本の産業技術史について次代を担う人たちに系統的に紹介するための施設です。

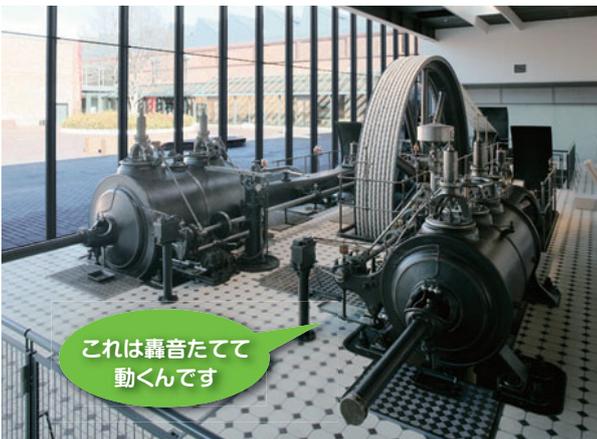
繊維機械館では、綿花から糸を紡ぎ、布を織る基本作業から現在の高度に自動化された現在の自動織機までその変遷を広く知ることができます。自動車館では、自動車技術の発展や生産技術を幅広く知ることができます。



UNIMATION社 UNIMATEロボット



ダンリー社 600トンプレス



蒸気機関

<動く展示品>

こちらの産業技術記念館のすごいところは、実演展示が充実しているところです。

自動車生産技術のボデー組付けコーナーでは、産業用ロボットの先駆けとなった米国UNIMATION社のUNIMATEロボットの動態展示があります。以前ご紹介した国立科学博物館編集の「産業用ロボット技術発展の系統化調査」でも写真で紹介されている、いわゆる6軸多関節のアームになる以前の1970年代のロボットが実際に動作するのです。ロボット関係者でその動作を目の当たりにすると感動する人少なくないはずですよ。

また、プレス→溶接→塗装→組付という自動車生産工程を実際の機械の実演を交えながら知ることができます。ロボットやプレス機械はボタンを押して動かすことができます。歴史的なロボットや巨大なプレスマシンを動かすことは、なかなか体験することができないので、ぜひトライしてみてください。

実演の極めつけは蒸気機関で、100年以上前のスイス製の蒸気機関を一日に数回実演します。巨大な蒸気機関が徐々に加速して動作する様が見られるのは世界でも稀ではと思います。

こうした展示のあとは、テクノランドやキッズコーナーがあり、ご家族連れでも楽しく産業や技術を学ぶことができます。

今回触れた展示品は当社のもものではありませんが、ロボット産業や自動車産業を広く楽しみながら知ることができる大変貴重な記念館です。

名鉄で名古屋駅の次の栄生(さこう)駅から徒歩3分、名古屋駅から車で5分程度の場所にあります。名古屋へお越しの際には、ぜひ足を伸ばしてみてください。